



令和2年8月26日

# 蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校  
文責：校長 柿林 浩彦

第13号

## 下蒲刈中学校 感動と笑顔を ありがとう

～下蒲刈中学校 閉校式を行いました～

8月23日（日）午前10時00分から、下蒲刈中学校 閉校式を行いました。本来であれば、3月8日の卒業証書授与式に引き続き実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期しておりました。その後、新しい生活様式に基づく感染防止対策を行うとともに、呉市では感染が抑えられている状況から、来賓の方々をお招きして実施することとしました。

当日は、呉市長 新原 芳明 様、呉市教育委員会教育長 寺本 有伸 様をはじめ多数のご来賓の方々、生徒及び保護者の皆様に参加していただきました。多くの皆様の前で、無事、校旗を返納できたこと、全員で校歌を歌うことができたことなど、寂しい気持ちはありましたが、本当に感無量でした。

地域の皆様には73年間の長い間、下蒲刈中学校のために、そして、下蒲刈の子どもたちのためにご尽力いただき、改めてお礼申し上げます。

懐かしい校舎には、昨年度の生徒全員で作成した文字「下蒲刈中学校 感動と笑顔をありがとう」が飾られているとともに、下蒲刈市民センター3階の三之瀬小学校の「思い出の部屋」の一部に、下蒲刈中学校にゆかりのある写真や物品を展示しております。

「下蒲刈中学校」は私たちの心の中で生き続けます。

また、下蒲刈島の子どもたちは、蒲刈小・中学校で元気に頑張っています。現在は新型コロナウイルスのためほとんどの行事が中止となっていますが、今後、行事等開催することがありましたらご案内いたしますので、ぜひ子どもたちの姿を見ていただきたいと思います。

今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 学校長式辞

豊かな自然と歴史を有するこの下蒲刈島に、下蒲刈中学校は昭和22年4月1日に開校し、4021名の卒業生を送り出しました。そして、令和2年3月31日をもって73年の歴史と伝統とともに閉校しました。

本日、ここに呉市立下蒲刈中学校 閉校式を挙げるに当たり、呉市長 新原 芳明様、呉市教育委員会教育長 寺本 有伸様、呉市教育委員会教育部長 坂田 恭一様をはじめ、多数のご来賓の皆様、地域及び保護者の皆様のご臨席を賜り、心からお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策のため、3月の一斉休校期間中に、最後の卒業証書授与式は行いましたが、閉校式は延期しておりました。しかし、本日、皆様方のご臨席を賜り、下蒲刈中学校の閉校式を行うことができることを大変うれしく思います。

本校は開校当初から校訓「自主・自律」を掲げ、自分の考えをもち、しっかりと判断して行動し、責任をもつことができる生徒の育成に邁進して参りました。校歌にある「ああ我ら理想は高し 下蒲刈中学校」のように、高い理想をもち、歴史と伝統ある母校を愛する卒業生が数多く巣立っていったと思っています。

昭和、平成、令和と3つの時代を経て、人々の価値観や生活も多様化し変化の激しい社会になり、本校の生徒数も開校当時は429名でしたが、昨年度は全校生徒24名となりました。

しかし、昨年度は最後の一年ということで、素晴らしい歴史と伝統の集大成の年になることを願い、学校、家庭、地域が心を一つにして過ごした感慨深い一年となりました。特に、小中合同運動会では多くの皆様に来校していただき、人文字「下蒲刈」を作ったことは忘れられない思い出の一つになりました。

下蒲刈中学校は閉校しましたが、私たちの心の中で生き続けます。

最後になりましたが、本日ご臨席を賜りました皆様、そして、73年間の長きに渡り下蒲刈中学校にご援助・ご協力いただきました全ての皆様に深く感謝いたします。

皆様の今後のご健勝とご発展を祈念申し上げます、式辞といたします。

令和2年8月23日

呉市立下蒲刈中学校第20代校長 柿林 浩彦

## 下蒲刈 学びやに別れ

### 小中閉校式「伝統ある学校誇り」



下蒲刈中の閉校式で校歌を歌う出席者

呉市・下蒲刈島(下蒲刈町)の下蒲刈中と下蒲刈小の閉校式が23日、それぞれの体育館であった。3月末に閉校したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため延期されていた。

下蒲刈中の閉校式には、現在、統合先の蒲刈中に通う2、3年生や今春の卒業生、教職員たち計約70人が出席した。下蒲刈中で最後の校長を務めた蒲刈中の柿林浩彦校長が「学校は閉校したが、私たちの心の中にずっとあるとあいさつし、新原芳明市長に校旗を返納。島の豊かな自然を歌詞に織り込んだ校歌を全員で歌った。

動画は中国新聞デジタルで



下蒲刈中は1947年に創立し、73年間で4021人が卒業。式後、木造校舎だった頃などをスライドで振り返った。呉港高1年河原亜矢香さん(15)は「閉校は寂しいけど、伝統ある学校に通えたのは誇り」。来賓で出席した卒業生の原田敏信さん(69)は「地域とつながりの深い学校だった。感謝の気持ちでいっぱい」と話していた。



明治期からの歴史を持つ下島、三之瀬、大地蔵の3小学校在1999年に統合して誕生。21年間で243人が巣立った。いずれの式も感染防止のため規模を縮小するなどして実施した。両校の閉校で島内に小中学校はなくなった。(仁科裕成)

